



組合ニュース

平成22年度通常総会開催される

秋保温泉伝承千年の宿「佐勘」において

議案審議の内容

事務局が司会し、式次第により進行された。恒例の理事長藤野静男氏の挨拶です。



「早朝より遠いところにおいでいただきありがとうございます。今取り組んでいる問題は2つあります。1つは環境省エコアクション21認証取得です。昨年は13社で取得し、今年はその数を増やしています。当初3年で終了する予定でしたが、全社が取得するには5年を見込んでいます。みなさん全員にぜひ取得していただきたいと思っています。2つは、昨年7月に大阪府を除いた府下42市町村にアンケートを出し、合特法に基づく支援措置が解決したかどうかの調査しました。40件の回答があり、思ったより多かった。未回答の2市は東大阪と松原両市です。し尿収集は32市で解

決済みであり、池田市等の直営を考慮するのではないか解決していると思います。浄化槽清掃では15市町村で解決しています。今年は無解決の市町村で合特法に基づいた支援措置を得るよう運動を行います。既に、人口40万人の特例市である枚方市に交渉をしました。4名の弁護士をお願いし、枚方支部と組合で4月16日に第1回の会合を枚方市環境保全部と行いました。1時間半の話し合いでしたので具体的な話しは出来ませんでした。早期に解決できるように引き続き交渉をしたいと思っています。今後とも皆様の大きなご協力をお願いします。」

第46期事業年度の総会が平成22年5月19日(水)陸奥の宮城県秋保温泉伝承千年の宿佐勘において開催された。今回は初めて飛行機で大阪空港からの出発であった。早朝7時集合でした。全員笑顔でそろっておりひと安心であった。天気も雨の予報であるが、なんとか一日持ちました。

陸奥の宮城県秋保温泉と松島湾遊覧など杜の都仙台

第46期事業年度の総会が平成22年5月19日(水)陸奥の宮城県秋保温泉伝承千年の宿佐勘において開催された。今回は初めて飛行機で大阪空港からの出発であった。早朝7時集合でした。全員笑顔でそろっておりひと安心であった。天気も雨の予報であるが、なんとか一日持ちました。

審議がなされた。新しいビジョンに基づく府下市町村に対する合特法支援措置獲得活動や環境E A21認証取得事業関連予算を計上し、組合員は一致団結して問題にあたり、解決し、発展して行く決意を示した内容です。

この鐘崎工場を見学した。試食コーナーの作りたてのかまぼこや揚げたての惣菜は極めて美味であった。昼食のため仙台市内の老舗旅館にバスを横付けした。バスを降りた数人の男性が昨夜懇親後にタクシーを乗り付けた場所や談笑し、「ここで泊っていてもよかったです。」とささやきが聞こえて、皆大笑いしながら旅館に入った。

空港で別働のグループと合流し、持ち切れないほどの土産物を携え、帰路についた。予定の7時に大阪伊丹空港に着陸し、二日間の総会旅行を無事終了できました。

発行所
大阪府衛生管理協同組合
編集事務局・広報部
〒556-0011 大阪市浪速区
難波中2丁目7-25
TEL 06-6633-2460
FAX 06-6633-1652



議案は全てスムーズに審議され満場一致で承認された。最後に藤野理事長の組合員に対し絶大な協力を要請した閉会の辞で終了した。

残暑お見舞い申し上げます (平成22年)

理 事 長	藤 野 静 男	副 理 事 長	川 口 廣 次 郎	理 事	植 木 隆 弘	理 事	畑 中 政 浩	理 事	賀 好 亮 介	理 事	三 川 浩 一	理 事	岸 田 正 義	理 事	齋 藤 純 代	理 事	森 廣 治	副 理 事 長	滝 北 健 治	副 理 事 長	永 田 伊 智 朗	理 事	辻 貴 之	理 事	野 中 久 泰	監 事	青 雲 治	監 事	外 村 文 昭	青年部委員長	金 澤 一 也
-------	---------	---------	-----------	-----	---------	-----	---------	-----	---------	-----	---------	-----	---------	-----	---------	-----	-------	---------	---------	---------	-----------	-----	-------	-----	---------	-----	-------	-----	---------	--------	---------

定例理事会の報告

平成22年1月13日(水)
(1)理事会のあり方について
「理事会のありかたについて」に関して以下のごとが確認された。

①理事会は組合定款に定める通り、相互扶助の精神に基づき審議を行う
②理事会は組合全体のために機能するものであるため、個人的利害関係の伴う問題に関しては一切取り上げない

③理事会に出席できるのは、理事本人に限られる
④理事会は議案のみを審議する
⑤各地域での問題については、定例理事会の10日前までに事務局に連絡する
その他に、永田理事より

9時30分に藤野理事長、滝北副理事長、事務局3名で面談をしました。同住宅管理課、計画グループ課長補佐 佐盛田 和幸 氏から後日「分離発注」についての見解を聞く約束です。
(2)EA21の経過報告と新規募集について
現在13事業所で環境経営システムのテスト運用が終わり、順次環境省中央事務所審査を受けている。既に3件が認証取得済みです。新規募集をしますので皆様の参加をお願いします。

21年度の報告
昨年は13事業所で認証取得ができました。期間は各事業所で3ヶ月間取り組み、その後現地の各事業所で作成した環境レポートの審査、地域判定を経て中央事務局判定合格となり、初めて認証登録が可能となりました。今年1年を超える期間を要した事業所もありました。とにかく皆様のがんばりの成果だと思えます。
22年度実施
今年度は8事業所で応募希望があり、既に5事業所で開始しています。
6月11日(金)に組合事務局でオリエンテーションを実施しました。事業実施計画表により、第1回のアドバイスを各事業所で6月中に行いました。
なお、実施機関は昨年と同じ特定非営利活動法人大阪府環境協会の環境省EA審査専門家4名とコンサル8名です。

エコアクション21について

EA21の認証取得に向けたアドバイスのスケジュール
NPO法人大阪府環境協会

Table with columns: アドバイス内容, 機軸, 開始, 備考. It details the timeline for EA21 certification from initial explanation to final application.

○の数字はPDCAの必須。理解等の充足によっては薄グレー地を早めに行います。地域事務局→中央→登録

21報告 13事業所で完了
17日現在の実施状況
登録・認証済4、中央判定3、地域判定4、現地審査2、手順①事業所で環境レポート作成②環境省審査人の現地審査③地域(審査人所属事務局)判定④中央(環境省事務局)判定、国のCO2削減政策もあり、組合は環境省EA21環境経営システムを採用して、「環境に配慮した経営企業」として、希望事業所には数年かけて実施する。
(2)枚方支部の件
21年9月理事会において、組合調査では、15のみが解決済み。残りについては弁護士をいれて行政交渉をすることを決定。その後、枚方支部において、組合三役や弁護士団等の会議を6回開催し、枚方市交渉準備を進めてきた。支援措置の請求金額を各社ごとに算定した。今回、弁護士団に動いてもらうため、着手金を支部に貸付けます。
(3)大阪府環境水質指導協会正副会長会議報告
3月11日(木)堺市の協会で開催され、今年度は大幅な赤字になり、対策として顧問弁護士、会計士等の費用削減や中央区谷町の大阪事務所閉鎖で対応する。
(4)組合総会開催日程について
日程：5月19日(水)20日(木)、行き先：宮城・仙台方面
注：大阪伊丹空港より飛行機を利用予定
(5)青年部報告
特に、報告はありません。
平成22年4月21日(水)
(1)平成21年度決算報告及び平成22年度予算案の件
協田顧問税理士より説明。損益計算では、21年度の

出費を極力抑える努力とした結果、前年度と同じ額の利益を確保できた。
22年度予算案では、業務売上を確保し、支出を削減する努力を引き続き行って利益を上げるよう配慮した。
(2)通常総会について
4月21日現在26名の出席です。毎年30名以上の参加者があり、例年の参加者に出席要請を再度します。
(3)合特法に基づく浄化槽補償の件(枚方市)
三ツ川枚方支部長より報告。4月16日(金)午前11時、枚方市環境保健部と行政交渉のため、同支部全事業所8社、当組合正、副理事長(4名)事務局、東島顧問弁護士他3弁護士計16名で面談を行った。なお、枚方市当局は環境保健部長他下水道関係職員を含む12名であった。面談内容は、すみやかに補償交渉に入るよう、市当局にうながした。双方の担当窓口を市は浜津淀川衛生事業所長、支部は坂川弁護士とした。また、次回開催を早期に行うよう要請した。
(4)青年部報告の件
金澤青年部長より会計報告があった。
(追記)
その後の枚方市支部の件
平成22年5月21日枚方市と電話で会話。
先日の面談後、内部でも情報収集や法律面の理解に努めた。しかし、当方はいまだお話をさせていただく状況に至っていない。枚方市としては、「然るべき時期」が来れば、お話をさせていただきます。

Advertisement for Morita Econos. Title: 大切な資源を活かして豊かな未来環境の創造へ. Includes images of various trucks and vans used for waste management and recycling, such as '計量装置付バキュームカー' and 'エコパネル(バキュームカー)'.